

特集

集

防災・減災対策

北海道では、日本海沿岸の急崖斜面や冬期の厳しい気象条件によって様々な災害が頻発している。

全国的にみても、地球温暖化に伴う気候変動などにより自然災害の頻発・激甚化や火山活動の活発化など、「新たなステージ」に入った災害に対して、個人、企業、地方公共団体、国などが、主体的に、かつ連携して対応することが必要であると言われている。

本特集では、「防災・減災対策」をテーマに、まずはわが国が直面する現状とこれからの防災が進むべき道について関西大学社会安全研究センター長の河田恵昭氏より基調レポートとしてご寄稿いただいた。

次に、地震津波災害や大雨洪水災害、暴風雪災害に対する道路防災の取り組みについて北海道開発局に、暴風雪災害に対する課題とその解決のための取り組みについて北海道建設部にお話を伺った。さらに、北海道内で初めて特別警報が発表された平成26年9月の豪雨に対する対応とその後の検証をふまえた対応の見直しなどについて、札幌市にお話を伺った。



基調レポート

災害多発時代の防災・減災・縮災

関西大学理事・社会安全学部教授、関西大学社会安全研究センター長 河田恵昭氏

インタビュー

インタビュー1

道路防災・北海道開発局の取り組み

地域防災パートナーシップを基盤に、雪、地震、大雨に強い道づくり
北海道開発局 建設部 道路維持課長 鈴木 亘氏

インタビュー2

暴風雪時の道路管理・北海道の取り組み

暴風雪から交通と生命を守る7つの取り組み方針を策定
北海道 建設部 建設政策局 維持管理防災課 維持担当課長 永山秀明氏

インタビュー3

札幌市 9.11豪雨対応検証

詳細なマニュアルよりも普段の意識と手順を定着させる訓練
札幌市 危機管理対策室 危機管理対策課長 村井広樹氏